

■近隣自治体はもっと安い！

県内や大阪の近隣自治体の預かり保育料は、教育時間終了後の 2 時間～4 時間で概ね 200 円から 400 円です。また、規則ではなく議会の議決が必要な条例で定めているところも少なくありません。**1時間ごとに利用料金があがるのは生駒市だけです。**

保護者から反対の声があったあと、教育委員会は、水曜日の教育標準時間が終了する 11 時 30 分からも預かり保育を実施することを決めました。また私たちが条例案を出したあと、壱分幼稚園で夏休みの預かり保育をモデル実施すると発表がありました。値上げた分、サービスを拡充するということかもしれませんが、1号認定こども世帯がその経費の多くを負担しなければなりません。**利用したくてもできない料金では元も子もありません。**

■「時期尚早」という逃げ口上

本条例案に対する反対意見は、「4月に規則が改正されたばかりで一年の間に料金が何度も変われば混乱する」、「利用実態調査を行う必要があり、今は時期尚早である」、「予算編成権のない議員が予算措置を伴う条例を提出すべきではない」というものでした。

予算措置といっても、事業コストは利用料金に関係なく一定です。もちろん利用収入は下がりますが(市は、利用促進による増は考慮せず100万円の収入減と試算)、市も年度途中のサービス向上に係る経費増の補正なんていちいち出してきました。また私たちは当初予算で無駄な事業費を削減しています。執行できないなら市長も再議権を行使すればいいのです。

また、度重なる料金改定による混乱といっても、保護者に説明もないまま値上げた昨年10月と異なり、歓迎される「混乱」です。さらに調査が必要ということですが、4月の規則改正でも「回復」措置の対象になった対象園児は9人にすぎず、今さら調査せずとも利用しにくい状態にあるのは明らかです。



■現行規則と条例案の料金体系の比較

	保育料の額		
	現行規則		条例案
	1号認定	新2号※/ 準新2号認定	一律
7:30～8:30	300 円	150 円	300 円
14:00～15:00	300 円	150 円	
14:00～16:00	600 円	300 円	
14:00～16:30	750 円	375 円	
14:00～17:00	900 円	450 円	600 円
14:00～18:30	1350 円	675 円	
11:30～15:00	1050 円	525 円	300 円
11:30～16:00	1350 円	675 円	600 円
11:30～16:30	1500 円	750 円	
11:30～17:00	1650 円	825 円	600 円
11:30～18:30	2100 円	1050 円	900 円

※新2号認定こども世帯は、450 円を日額上限として減免。
●生活保護世帯・非課税世帯は 0 円。
●水色の区分は南幼稚園と認定こども園生駒幼稚園だけに適用。オレンジの区分はそれ以外の幼稚園だけに適用。
●きょうだい減免、三期休業中の料金体系は別途あり。

■議員提出議案第 6 号 生駒市立幼稚園預かり保育条例の制定について採決結果	
中谷議長は採決に加わらず。松本議員（大樹）は欠席。	
反対 13	白本・吉村（以上、凛翔絆）、恵比須・成田・山下（以上、生駒市議会公明党）、梶井・中尾・中嶋（緑生）、山田（国民民主党）、上村（立憲民主党）、福中・伊木・片山（以上、無会派）
賛成 9	中浦・改正（以上、大樹）、浜田・竹内（以上、日本共産党）、吉波（市民ネット）、沢田・神山・加藤・塩見（以上、無会派）

周回遅れで不十分な財政出動。新型コロナ感染症対応の政策効果に疑問！
6月定例会一般質問

いったん収束に向かったものの再び感染拡大傾向にある新型コロナウイルス感染症です。自治体の使命は市民の生命と財産を守ることです。第一波のさなか、またその後、各自治体がそれぞれに感染症対応策を競い合うように提示しましたが、生駒市の対応はどうだったのでしょうか？次に到来する波、あるいはその他の危機に今後適時適切に対応できるよう 5 月末までの一連の市の対応を検証すべく、一般質問しました。

生駒市の 5 月末までの新型コロナウイルス感染症対応支援事業の展開

	感染状況・国の動き	生駒市の主な対応・支援策
2 月末	全国一斉休校要請	3 月 3 日から春休み前までの休園・休校決定
3 月 10 日	国の経済支援第 1 弾発表	
3 月下旬	感染拡大	令和 2 年度予算可決（新型コロナ感染対応はなし）
4 月 3 日		学校の再開延期
4 月 7 日	国が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金創設	
4 月 10 日		コロナフリーキャンペーン（予算額 0 円）
4 月中旬	緊急事態宣言（16 日）	
4 月 24 日		市の対応策 vol.1（予備費・水道事業会計対応）
4 月 27 日		市議会臨時会（国民健康保険傷病手当 48 万 6 千円）
4 月 30 日	1 人 10 万円特別定額給付金（約 120 億円。市は即日専決処分）・児童手当 1 万円加算（約 1 億 7 千万円。5/18 の臨時会に予算案提出）が国会通過。	
5 月 1 日	国から第 1 次臨時交付金の額面提示	
5 月 14 日	緊急事態宣言解除	
5 月 18 日		市議会臨時会 市の対応策 vol.2（国の臨時交付金約 2 億 3 千万円） 住居確保給付金 270 万円(負担割合国 3/4・市 1/4)

薄紫の着色部分が国からの受託事務（黄色マーク一部）または市独自の支援策の提示。

コロナフリーキャンペーンの店舗登録をしたけど、感染収束後も客足が戻らない…。



休校期間中は毎日のお昼ご飯を考えるのも用意するもの大変だった。



国の生活支援制度はいろいろあるけれど条件が合わなくて…。特別定額給付金を少しでも早く給付して欲しかったんだけど、なかなか申請書が届かなくて…。



■市の支援策の優先順位は「お金をかけないこと」？

- 市が支援策を講じるにあたっての基本方針と優先順位を質したところ、
- ①財政負担なく、すぐに取り組めるもの
- ②財政負担は生じるが緊急度があり、早急に取り組む必要があるもの
- ③国の補正予算を活用して取り組むもの

の順番で取り組んだとの回答でした。つまりこの「有事」ともいうべき時に市は、**地方創生臨時交付金が入ってくるまでは、自主財源は最小限に抑えるつもりであった**ということです。実際、4 月・5 月中に市が自主財源を使って講じた市独自の支援策は右の 4 事業だけでした。

もちろん新型コロナウイルス感染症対応とはいえ、限りある財源です。今後、税收の減少も予測され、見境なく使うことは厳に慎まなければなりません。かといって**コストをかけないことで政策の効果が薄れては元も子もありません**。「コロナフリーキャンペーン」の「さきめしいこま」事業と特別定額給付金事務に絞り質問し、検証を行った結果、やはり**4 月臨時会で独自財源を投入した予算案を提出すべきであった**との確信を得ました。

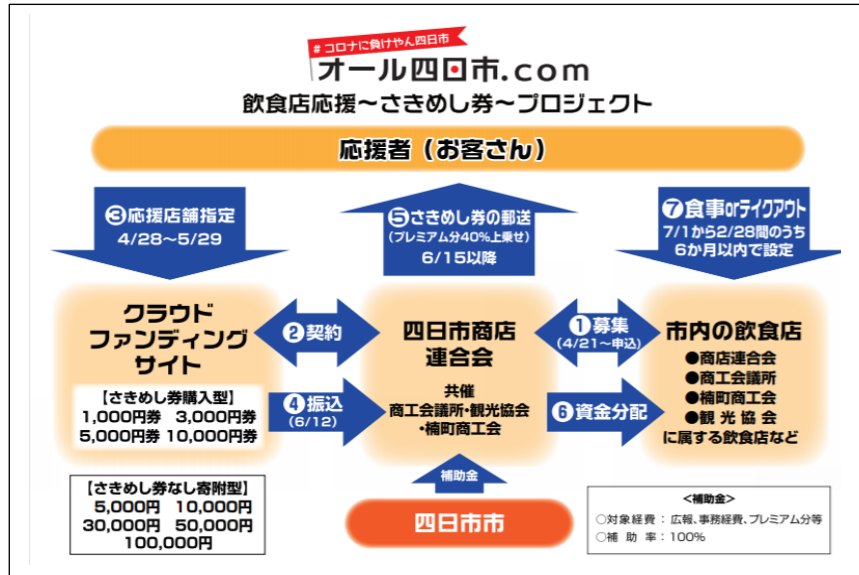
誰が得する？「さきめしいこま」事業

「さきめし」というのは、Gigi 株式会社（福岡市）の「ごちめし」（ご飯をご馳走する）機能を活用して、新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店へ食事代を先払いし、コロナ終息後にお店を訪れてもらうというものです。

市民は、スマートフォン（スマホ）から登録店舗のチケットを額面の 10%の手数料を加えて購入し、後日スマホを持って飲食しに行きます。手数料は Gigi(株)とクレジット会社に入ります。

市民は 10%余分に負担。店は入金相当分の食事を提供するだけです。5 月 31 日時点で登録店舗数は 20 事業者。市内全体の応援総額は約 61 万円にとどまりました。

一方、三重県四日市市は4月28日から商店連合会がクラウドファンディングを使った「さきめし」事業を展開しましたが、**市がプレミアム分と事務経費、広報すべてを補助**することで、市民は額面に関わらず1回の購入につき 220 円の手数料を負担するだけで 140%の額面のさきめし券を購入でき、店も受けた応援に応じて資金分配されるしくみです。その結果、**1か月間で 14,000 人以上の市民から518店舗に2億9300万円の支援が寄せられました**。約4億1千万円が7月から市内で循環します。人口が生駒市の約3倍とはいえ、経済効果の差は歴然です。市が負担した経費も、国の臨時交付金で措置できました。



■あきれた生駒市協創対話窓口

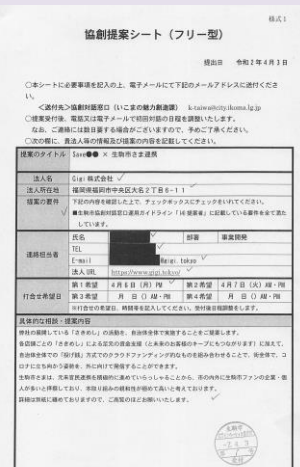
それにしても、なぜ生駒市は商工会議所と提携したバルの実績もあるのに、**スマホを持っている市民しか利用できない**ようなしくみでこの事業を始めたのでしょうか？

市の答弁によると、飲食店の支援策を市役所内で協議していたが、市役所等の駐車場を土日に借りて一般に貸し出す事業を行なっている akippa (株)から Gigi(株)を紹介され、今春創設された生駒市協創対話窓口を使った公民連携第1号として契約したとのことです。

しかし、ここには大きな問題があります。協創対話窓口ガイドラインには市からテーマを投げかける「テーマ型提案」と企業や事業者からテーマを定めず提案を受ける「フリー型提案」とがありますが、今回は**市がテーマを投げかけながら事業者公募をせず「フリー型」として Gigi(株)に提案シートを提出してもらっていた**のです。（右写真）

塩見は3月定例会の一般質問で、この窓口開設にあたって「**協創対話窓口ガイドラインから恣意性を排除し、事業者間の公平性が損なわれることのないよう求**めていましたが、第1号案件からこのような処理をされると、もう市には不信感しかありません。

6 月議会では、市も「さきめし」の店舗を飲食店以外にも拡大して、30%のプレミアムをつける予算がつかしました。遅きに失した感もありますが、プレミアムは良しとしても、この Gigi のしくみを使うことには釈然としません。



一石二鳥 市の補助で飲食店も子育て世帯もうれしいまち

休校休園中に保護者が困っておられた一つに「お昼ごはん」がありました。残念ながら生駒市では独自の財政出動を考えていませんでしたが、子育て世帯が飲食店のお弁当のテイクアウトやデリバリーを利用する際に補助を出していた自治体も少なくありません。飲食店業者にも子育て世帯にもうれしい事業なのに、生駒市にこういう発想がなかったのが残念です。